

「日本文化社会インスティテュート」 第二回シンポジウム

*New steps in Japanese studies / Part-II*

# *Modern Japanese Arts in Global Contexts*

2014年12月15日(月)

15:00~18:30

神戸大学文学部 A 棟一階・学生ホール

主催：神戸大学人文学研究科・

日本文化社会インスティテュート



司会：油井清光

発表

- 1) 嘉指信雄：“Soseki’s Phenomenology of ‘Hi-Ninjo  
and the Wake of Modern Japan”  
(「漱石の“非人情の現象学”と近代日本の軌跡」)
- 2) 長野順子：“‘Les artistes japonais’ in Paris in the 1920s:  
A Case of Interweaving Cultures in Performance”  
(「1920年代パリにおける“日本人アーティストたち”  
——上演における文化の編み合わせの事例」)
- 3) Leszek Sosnowski：“Trans-Art Trans-Aesthetics:  
Phenomenological Approach into European-Japanese Art”  
(「トランス-アート/トランス-エッセティックス  
——ヨーロッパ-日本アートへの現象学的アプローチ」)

リスポンダント：前川修、芦津かおり、増記隆介ほか

[発表は英語で行われますが、日本語での質問には通訳がつきます]